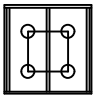
【アンカーボルトの配置例と作用せん断応力度】

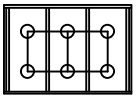
アンカー４本

水平２列×鉛直２列



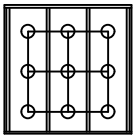
アンカー６本

水平３列×鉛直２列



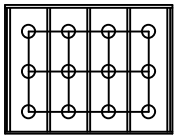
アンカー９本

水平３列×鉛直３列



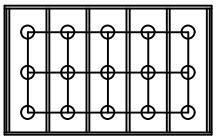
アンカー１２本

水平４列×鉛直３列



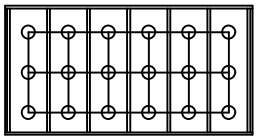
アンカー１５本

水平５列×鉛直３列



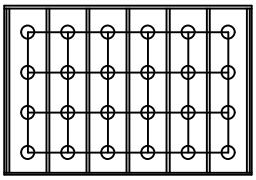
アンカー１８本

水平６列×鉛直３列



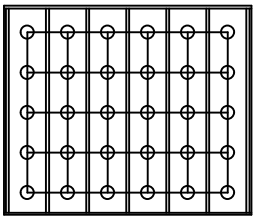
アンカー２４本

水平６列×鉛直４列



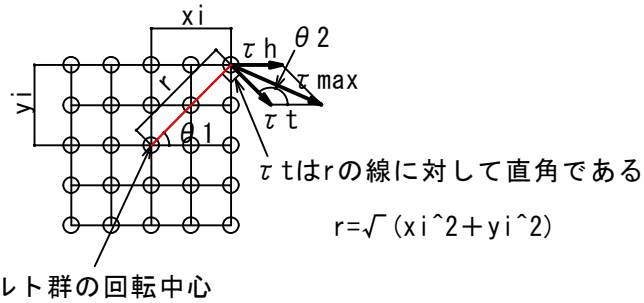
アンカー３０本

水平６列×鉛直５列



注）日本道路公団の落橋防止標準設計図では、鉛直方向には３段までとするとなっているので注意すること。

【ねじりモーメントによりアンカーボルトに作用するせん断応力度】



r　　：着目アンカーボルトのボルト群の中立軸からの距離
τh　：橋軸直角方向水平力によるせん断応力度
τt　：ねじりモーメントによるせん断応力度
τmax：τhとτtの合成せん断応力度